

# みうらトーク&トーク 令和6年度第1回

## <日時>

令和6年7月18日(木)

19時~20時

## <テーマ>

今後の初声町を考えて

## <参加者>

初声区長会

区長ほか27名



## <概要>

### 初声区長会長

#### 挨拶

トーク&トークが始まったのは平成18年からと聞いている。初声区長会は意識の高い方が多かったのか、開始後ほぼ毎年行っている。初声区長会では、初声統一クリーンデイも歴史があり、また、避難所運営委員会を立ち上げたのも東日本大震災の後に他の地区よりも早かったと記憶している。今日も、市長から最新の話を知ることができて、また、質問もできる機会なので、ぜひ今日のこの機会を今後の地域での活動にご活用いただきたい。

### 市長挨拶

高梨会長から話があったとおり、トーク&トークは平成18年に開始した。初声区長会の皆様とは、テーマは毎年少しずつ異なるが、ほぼ毎年やらせていただいている。今日は、市政や初声地区の話題について、色々ご意見いただければと考えている。初声地区は、潮風アリーナ周辺で商業施設が整備されたり、ここ最近は様変わりしたが、その分、道路の問題や渋滞の発生など課題が出てくる。街づくりというのは、その繰り返しだと思う。区長会の皆さんは、市民の皆さんの窓口になっていただいております、今後も色々とお世話になることが多いと思う。今日は初声区長会から提案された5つのテーマについて説明して、その後、フリートークとなる。よろしくお願いいたします。

### 市長

引橋の市民交流拠点整備事業について。引橋の県立三崎高等学校跡地における市民交流拠点整備事業については、公共的機能と民間施設を段階的に整備し、市民交流拠点を形成することを目指し取り組んでいる。ご存じのとおり、以前、校舎のあった土地であるA地区においては、ベイシア三浦店と市民交流センターがオープンし、賑わいのある施設として皆様に定着してきたものと感じている。また、B2地区は、デザインビルドの手法を用い、公民の連携により市民の憩い・潤いや市内外の人の交流等に資する事業を展開することで、さらなる市民交流の活性化を図る計画となる。令和5年1月の公募により、民間事業者から市民交流拠点のコンセプトにあった事業提案を受け付け、有識者により構成された審議会を経て同年7月に優先交渉権者（スターツグループ）を決定、9月に公共施設建設に関する工事請負契約（設計・施工一括）を締結した。現在、この契約に基づき、新し

い市役所等の詳細設計の実施と建築確認等の許認可手続きを進めており、新庁舎への移転に向けた整備に取り組んでいる。そして、今年度、小網代の森入口交差点から地区内に整備した市道を延伸整備し、入ノ沢地区との通行を確保する工事を実施する予定。現在、妙音寺の方からの道路は途中で止まっているが、それが、通行できるようになる。新しい市役所等の建設や道路の整備工事の実施に際しては、担当より、近隣の皆さまにご説明を行っている。ご迷惑をおかけすることもあるかと思うがご協力をお願いする。その他の取り組みとしては、以前のグラウンド上段に図書館と賑わいをもたらす民間施設を合築した建物を整備する計画。地域や年代を越えた多くの人々の活動・交流を促進するとともに、市の活性化に繋がる土地利用を図るべく、今後も取り組んでいく。

入江の再開発について。平成26年から令和3年にかけて、「カインズ三浦店」に始まり、「ノジマ三浦店」、「ヤオコー三浦初声店」など、複数の商業施設がそれぞれオープンし、活気ある地区となり、たいへん喜ばしいこと。一方で、「カインズ三浦店」の西側の未利用地が課題。平成28年にプロパストからスマートコミュニティに土地の所有権が移り、平成30年9月には、開発敷地を取得したことを理由として、三浦市まちづくり条例に基づく承継の手続きがされ、事業の全体承継とともに、開発事業の名称を「(仮称)スマートコミュニティ三浦計画」としている。現在は、事業承継した開発計画を踏まえ具体的な事業計画を整理・調整し、新たな計画策定に向けて取り組んでいると聞いているが、現在のところ具体的な進展は無い。今後、計画案の具体化に応じて、三浦市まちづくり条例に基づく市との手続きが開始されていくと思うが、事業の進捗に変化が生じた際には、周辺住民の皆様に対し、事業者より説明させていただく場が設けられると考えている。

西海岸線道路の計画について。西海岸線道路は、国道134号や県道26号(横須賀三崎)のバイパス機能を持つ道路として、渋滞の緩和などの様々な効果が期待されており、要望を重ねている。しかしながら、国道134号の三崎口駅付近から、油壺にある県道216号までの約2.5kmが未整備の区間となっており、早期の整備が望まれている。この未整備の区間については、事業をすすめている神奈川県が、平成28年度から、小網代湾やその周辺で、環境調査をはじめ、橋梁の形式の検討や現地の地形、地質など、道路の設計に必要な調査を進めている。現在は、用地取得に向けて、土地の位置や境界を確定し、道路整備に必要な土地の面積を求めるための測量を行っている。市でも、引き続き、早期に整備してもらえるように要望するとともに、道路の設計や工事についての相談、住民の皆様への説明について、積極的に調整を行っていく考え。県も早期整備に向け、鋭意努力しているので、今後とも、住民の皆様におかれても、事業の円滑な推進にご協力をお願いしたい。

西海岸線道路に続いて、三浦縦貫道路の延伸について。料金所から高円坊まで約1.9km延伸された。そこから先が未整備だが、西海岸線の三戸を抜けて小網代までの整備を優先するという事になっている。ただ、約1.9km延伸されて、高円坊出口からの市道の交通量も増えており、三浦縦貫道路も、県では早期に進めたいと言ってくれている。完成すると横浜横須賀道路の衣笠インターから三崎口駅付近を結ぶ約9.4kmの幹線道路となるが、西海岸線道路も含めて、ぜひ早期に整備してもらいたいと継続して要望していく。延伸する部分は一般道路となり、有料道路区間より整備がしやすいのでは、と思うが、進捗が遅いと感じている。動線は概ね決まっていて、高円坊の日枝神社の近くを通り三崎口駅付近まで。そこから、西海岸線道路で三戸を抜けて、という計画だが、長くかかっており、今

後も、県に要望していく。

最後に、(仮称)三浦しみんひろば整備事業について。まだ具体的な行政計画の位置づけではないが、廃止した半次の市営住宅の跡地をどのように活用するかがテーマ。土地は借地で地権者がいる。地目は畑だが、市営住宅の敷地として借りて、約60年前から活用してきた。市営住宅の建物の傷みが激しくなってきたことから、約30年前から新規入居を止めていたが、その後も地代を支払い活用してきた。市でもケアしながら入居者に転居していただき、約3年かかったと思うが、市営住宅は廃止した。廃止後、地権者に土地を返還して終わりという考えもあるが、桜まつりの河津桜を歩いて見に行ける場所であり、観光バスや一般車両の駐車場の確保に苦慮しているので、最初は駐車場での活用はどうか、という考えがあった。ただ、駐車場だけだと桜まつりの時期だけとなり、それでは意味がないだろうということで、市民の皆さんが集える場所、子ども達の遊び場も不足しており、また、農産物などの物販施設での活用もできないか等、活用の計画を今年度1年かけて検討するという事で準備している。一帯で見ると、市営住宅の敷地で借りていた土地、それ以外の民間の土地、駐車場となっている市が所有している土地が混在しており、民間の土地の部分は新たに借りたり取得するなどの手続きが必要になる。市役所で直接事業を行うのではなく、どのような活用ができるか民間に事業化可能性調査を実施しており、その内容を検討し決定していく。市議会でも、市営住宅を廃止したのに地代を払って借り続けるのか、といったご意見もいただいております、早めに計画を検討して、上手くいかないようであれば、諦めて土地を返還することも含めて考えなければならぬので、様々な局面から検討していく。借地で地代を払いながらだとコスト面の課題もあり、元々は畑だが市営住宅の土地として借りてきたので地代もかなりかかっている。引橋と三浦海岸の間の国道に面した便利な場所で、活用できるようであれば引き続き活用したいと考えており、子ども達の集える場所などに関してご意見を聞くことも始めている。そのようなことも踏まえて、これまで市で借りてきた土地なので、市として今後の活用を検討して、その結果を皆さんにお示ししていく。

**市民** 新庁舎建設の説明会に出席できなかったが、日照のことなど、何か問題は無かったか？

**市長** 近隣住民の方から日照の件の話はあったが、説明させていただきご理解いただいた。他に工事の騒音などの話があったが、いずれも説明してご理解いただいている。総じて、市の庁舎を建設することについて、反対ということは無いと聞いている。

**市民** 飯森区としては、妙音寺の側の入ノ沢地区から上がってきた道が新庁舎の建設地の市道につながると大変ありがたい。その道路沿いの7世帯が孤立しがちで、熱海の土石流があった大雨の時などに土砂崩れがあり、これまでに何度か孤立したことがあった。

**市長** 狭い道で、これまでもよく崩れている。大きなトラックが通れるような道路にはならないが、幅員4m程度の道路でつながることになるのでは。

**市民** 三浦海岸から一騎塚に抜ける県道の2つ目の中尾というバス停の近く、ちょうど高円坊

の水源地から上がって行って県道に抜けたところの近くの畑に残土が山のように積み上げられた場所があり、地権者が放置している。

**市長** 状況は承知している。基本的には地権者の責任で改善してもらわなくてはならないので、それを前提として色々な案を検討していると聞いている。

**市民** 例えば、あのような場所を開発しようとして、農地からの転用の許可は下りるのか？

**市長** 現状は農地造成の許可が出ているのだと思う。許可に基づき造成をしてもらう必要がある。農業委員会に聞いてもらおうと、市の見解を一部は確認できると思う。

**市民** 昨年、歩道の雑草の話を見せてもらったが、車で走っていてもゴミの投棄が目立つ。雑草は、畑から生えているところもあるが、歩道にもかなり生えているので、もう少し草刈りをして美化に取り組めば、ゴミの投棄が減り街もキレイになるのではないかと思う

**市長** 三浦市では、ポイ捨てをためらう街という形で環境美化に取り組んでいる。市内の国道や県道は県の管理だが、県にもお願いして、キレイにしてもらっている。最近も七曲りで作業をしてもらっている。市では、土木課に直営の担当を置いて人も増やし、市民からの要望にすぐに対応するようにしている。県と市の管理で違いはあるが、市では道路の損傷等のLINE通報も始めた。ご意見いただければ対応するようにする。

**市民** 関連して、道路脇の雑草は、そこに土がたまるから、という原因があると思う。かつて、県の管理の道路だと思うが夜中に道路清掃車が走っていて、最近はずっと走っていない。また走ってもらうように要望できないか？

**市長** 県道で走っていたか？

**市民** 県道は分からないが、国道は走っていた。

**市長** 本日、そのような話があったことを記録して、確認して対応する。

**市民** 三浦縦貫道が延伸して三崎口駅付近まで通って西海岸線とつながったら、延伸した部分も西海岸線も、全て無料区間か？

**市長** 全て無料区間となる。

**市民** ベイシア2階の市民交流センターにリソグラフがある。区の定例会などで印刷物がたくさんある時には、コピー機ではなく、市民交流センターに行ってリソグラフを使っているが画質が非常に悪く、改善できないか？

**市長** 事務局で答えられるか。

**事務局** リソグラフは、指定管理者に置いてもらっているもの。市民交流センターだよりなどの印刷にも使っていて、味があって良いという声もある。今は指定管理の5年間の最中なので途中で変更というのは難しいと思うが、今回このような声をいただいたので、改善できるのか確認したい。

**市民** 500枚くらい印刷しても1,000円程度だったと思うので、とても低額で、リソグラフというシステムは良いと思うが、機械が古いのか、原稿をキレイに作っても、キレイに印刷できない。

**市長** 指定管理者の所有ということなので、確認する。

**市民** 杓形区で、歩道や公園の入口に、段差や車止め用の鉄パイプが設置されていて、車イスの方が公園を利用できない。健康な人なら鉄パイプを抜けば良いが、車イスだとそうもいかない。

**市長** 杓形公園やその周辺のことか？

**市民** 杓形の方の遊水地から一番川の脇を通る道路で、途中で幅員が狭くなり車のすれ違いができず、道路の真ん中あたりにすれ違うための退避スペースがある。最近、道路幅員減少注意の看板を久しぶりに立ててもらったが、よく車同士が両側から来て通れず陰湿な雰囲気になることがある。全体の幅員を広げるのは長くて大変だが、もう1か所くらい幅30cmくらいで長さ数m道路を広げることができれば、すれ違えるようになる場所がある。三浦縦貫道路の延伸で交通量が増えたことに伴い、抜け道のように使う車が増えてきたので、対応できないか。

**市民** 杓形側から初声小・中学校に向かって一方通行の道路にしたらどうか。

**市長** すぐに道路を直すという対応は難しいと思う。また、一方通行にするというのは、警察の管轄となり難しい。

**市民** 西海岸線道路について、以前話を伺った時に、そんな遠い話ではないというような見解だったと思うが、どのくらいの想定か？20年くらいか？

**市長** 県の事業なので私から年数は言えないが、三浦縦貫と比べると、西海岸線道路は京急がかなりの部分の土地を所有していて地権者が少ないので、個人的な考えでは20年はかからないと思う。

**市民** 三浦縦貫道路の高円坊までの延伸工事の話も、30~40年前に聞いて、完成したのは最近。

**市長** その工事も文化財の関係で数年止まったが、実際に工事が始まってから工事期間はそれほどかかっていない。西海岸線道路は、京急との調整もすでに行われているので、そんなにかからないと思う。道路事業は、やはり用地買収にかなり時間がかかる。

**市民** 三浦縦貫道路よりも西海岸線の方が、はるかに早くできるか？

**市長** 西海岸線の方が早くできる見通しなので、優先して進めると聞いている。また、小網代湾に橋がかかり、その先の小網代側の西海岸線につながる部分は、先行して用地買収をしておき、余計に時間はそれほどかからないのではないかと、ということ。ただ、どのような橋を架けるのか最終決定はしていないので、そこで少し時間がかかることは想定される。

**市民** (仮称)三浦しみんひろば整備事業について、具体的に何を整備するか決まっていないということだが、どこかで市民に話を聞いたりSNSで意見を募集したり、何か市民の声を聞くということは行うか？

**市長** 子ども達の遊び場ということも考えており、市民の意見を聞くことになっている。

**市民** 西海岸道路の話の続きで、三戸入口からの御用邸道路は使うか？

**市長** その道路は、またぐだけで、農地造成の脇の上がっていく道のもう少し三戸入口側を通る形になるのではないかと。

**市民** そうすると、三戸入口の交差点に右折レーンはできるか？

**市長** 交差点改良は行うのではないかとと思う。

**市民** (仮称)三浦しみんひろば整備事業で、子ども達の遊び場という話を伺ったが、三浦市は出生率が低いので必要な、と感じた。子ども向けよりも、コロナの後、外に出なくなってしまった高齢者も多いので、高齢者が集まれる交流広場のようなものが必要ではないか？

**市長** 三浦市は高齢化率40%を超えていて、県内の市では高齢化率が一番高い。ただ、介護認定を受けている割合などは、それほど突出していない。元気な方が多いと私は考えている。高齢者にも子ども達にも優しい街づくりを目指している。屋内、屋外とも子ども達の遊び場が少ない、というのは様々なところで声をいただいている。南下浦コミュニティセンターができて、今後は初声市民センターをどうするか、など順次計画していくことになると思うが、そういった時には高齢者が集える場所ということも視点に検討したい。ただ、子ども達の遊び場は不要では、とは私は考えていない。

**市民** 両方が共存できる、ということが良いのかもしれない。よろしくお願ひしたい。

**市民** 先ほどの、(仮称)三浦しみんひろば整備事業について、子どもの遊び場などの意見を聞くというのは、最近、市で取り組んでいる「こどもまんなか市民会議」などで聞いたりするのか？

**市長** そのように考えている。そういった会議や保育園、学校、サークルなどで意見を求めることを考えている。

**市民** そういった取組が無いと、きっと子供は増えないのではないか。例えば、若い夫婦が子どもを育てようと考えた時、そういった施設などが無いと魅力が無くて、三浦市に住んでもらえない。

**市長** 人口問題は大きな課題。市の人口が4万人を下回って、転入転出の社会増減は、最近、マイナスの月もあるがプラスの月もあり、全体的に見るとほぼイーブン。一方で、例えば、出生が10人いて、お亡くなりになる方が50人というような形で、自然増減は減少しているのが三浦市の傾向。社会増減はそこそこの状況なので、これまで取り組んできた移住政策などは、一概には間違っていなかった、と感じている。今度、三浦海岸の駅前にマンションができるが、三崎口駅の道路の向かい側は調整区域で家を建てられない場所で開発ができない。市街化区域の線引きの見直しは、それぞれの財産の価値など、様々な問題があり簡単にはできない。ただ、駅周辺区域の地区計画を市で作って、住宅地にはできなくても多少の開発ができるようにする仕組みはあり、今後、県と具体的な調整に入りたいとは考えている。また、京急も今の方針では、三崎口周辺をもう少し活性化させようとは考えてくれていて、京急とも色々と調整はしているが、お金もかかることで、また開発の規制の問題などもあり、なかなか簡単にはいかない。ただ、そういった新たな取組も検討している。

**市民** 三戸入口と引橋の間の開発しているところは、どうか？

**市長** 三戸入口交差点から三崎口駅側は調整区域だが、引橋側は市街化区域。元々はゴルフ場を作る計画で昭和45年に市街化区域とされた。その後、小網代の森は70ha保全されて、市街化区域から市街化調整区域に逆線引きされた。市としてはその分市街化区域が減ってしまうので、例えば、三崎口駅周辺などに市街化区域を振り替えてもらえないか県とも調整した。ただ、県としては、人口減少傾向の中で市街化区域を増やすことは難しいということもある。県とはよくそのような話をするがなかなか難しい中で、先ほど話したとおり新たな取組も色々と検討はしている。

※公表については了承を得ております。